



IATF 16949:2016 規格概要 解釈コース 4箇条～7箇条



合同会社ほていコンサルティング

代表取締役 加藤 英明

内容

1、IATF16949 概要

2、IATF16949 規格解説



対 訳

自動車産業品質マネジメントシステム規格—
自動車産業の生産部品及び関連するサービス
部品の組織に対する品質マネジメントシステム
要求事項

[ポケット版]



International
Automotive
Task Force

IATF 16949:2016

参考:自動車産業品質マネジメントシステム規格(日本規格協会)

内容

1、IATF16949 概要

2、IATF16949 規格解説



対 訳

自動車産業品質マネジメントシステム規格—
自動車産業の生産部品及び関連するサービス
部品の組織に対する品質マネジメントシステム
要求事項

[ポケット版]



International
Automotive
Task Force

IATF 16949:2016

はじめに

自動車業界専用品質システム規格IATF16949は、世界の自動車業界の品質システム規格を統合することにより、グローバル展開を目指す各国の自動車メーカーが部品等をグローバル調達する際、供給者の選別に共通の基準を適用する事によって、高品質の保証と、低価格化を図ることを目的とした規格です。

法規ではなく、自動車メーカーからの要求となります。

自動車業界では欠くことのできない新製品開発のステージをその管理対象に追加し、新製品開発のプロセスを**クロスファンクショナルチーム中心**の運用管理とすることを要求しています。開発段階では**設計・工程FMEA**に、製造工程では**特殊特性**にスポットをあて、**コントロールプラン**にその管理方法や手段等を規定した上で、立ち上げ前に**製品承認手続き**により顧客に提出し、安定生産を確保するよう運営することになります。

はじめに

IATF公開ページ(公式解釈)

<https://www.iatfglobaloversight.org/iatf-169492016/iatf-169492016-faqs/>

<https://www.iatfglobaloversight.org/iatf-169492016/iatf-169492016-sis/>

URLはIATF16949規格の35ページに記載されている。



国際自動車タスクフォース




統計学 IATF 16949:2016認証取得 ▾ ルール第5版 ▾ IATF CBコミュニケ IATFステークホルダー・コミュニケ OEMの要件 ▾ IATF刊行物 IATF認証機関 ▾

査 > IATF 16949:2016認証取得 > IATF 16949:2016認可解釈(SI)

IATF 16949:2016認可解釈(SI)

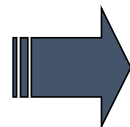
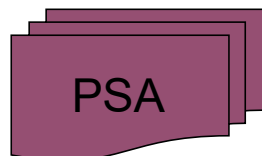
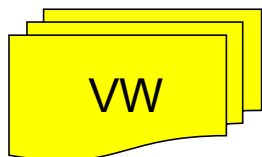
最近発行されたSIの翻訳が利用できない場合は、翻訳されたSIが公開されるまで、公開された英語版のSIが使用されます

16949年2016月に発行されたカスティーリヤスペイン語
IATF 23:25認可解釈(SI)#2022-2022(<=>年<=>月発効 )



要求事項統合化の流れ

各社毎の
要求事項



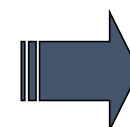
各国業界毎の
共通要求事項

94 QS9000 (米)

87 VDA6.1 (独)

94 EAQF (仏)

94 AVSQ (伊)



国際的統一共通
要求事項



IATF構成団体

IATF :

International Automotive Task Force(国際自動車タスクフォース)

IATF 16949認証制度の総元締め。IATF 16949の原案作成 / 認証ルールの制定 / 認証機関の認定。

1995年設立、自動車メーカー9社と自動車産業5団体で構成されている。

自動車メーカー(9社):

フォード、General Motors、ステランティス(クライスラー、フィアット、プジョー)、
ダイムラー、フォルクスワーゲン、BMW、ルノー、ジャガーランドローバー、
ジューシー

自動車産業(5団体):

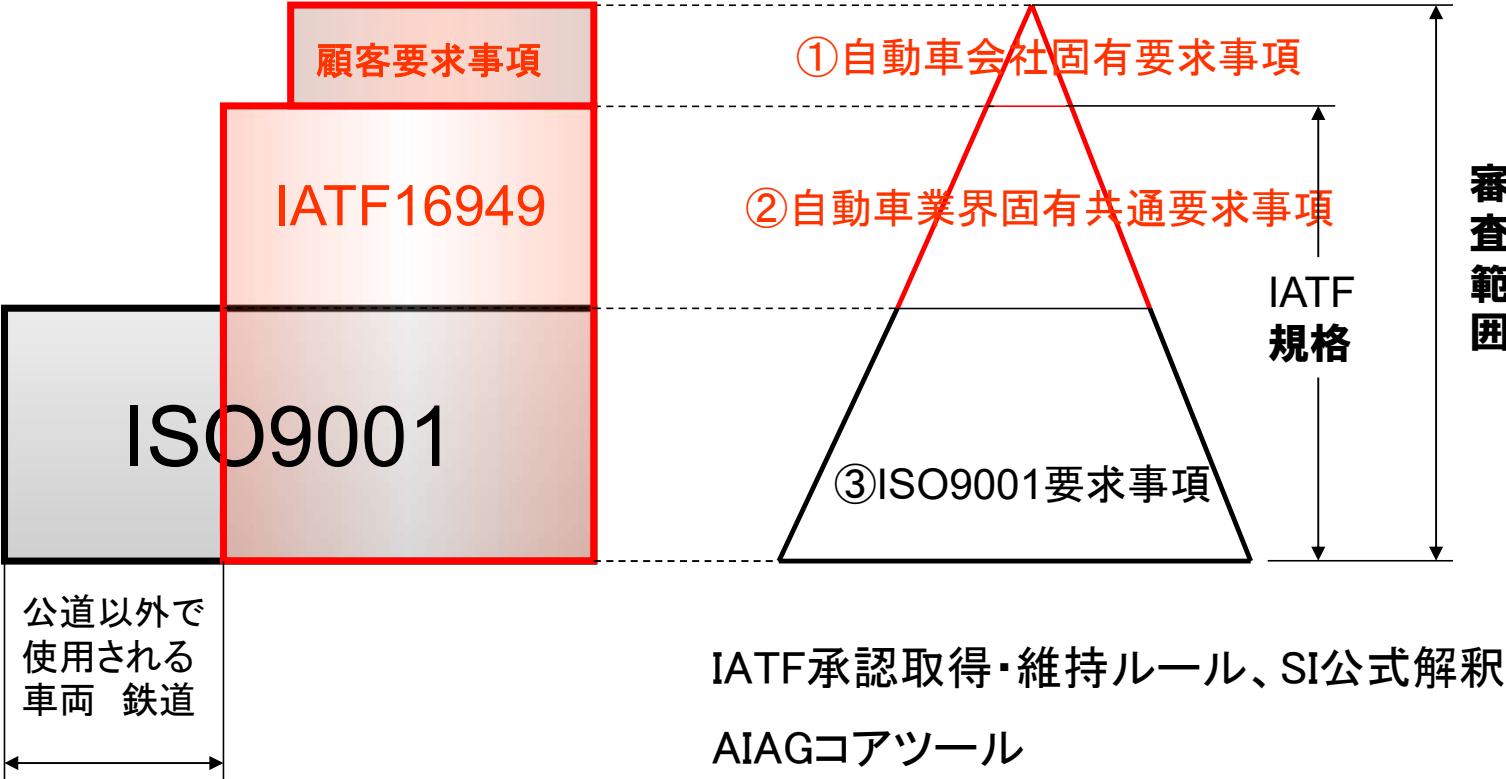
アメリカ AIAG、ドイツ VDA、フランス FIEV、イタリア ANFIA、イギリス SMMT

到達目標

この自動車産業QMS規格の到達目標は、不具合の予防、並びにサプライチェーンにおけるばらつき及び無駄の削減を強調した、継続的改善をもたらす品質マネジメントシステムを開発することである。



規格の構成



ISO9001は方針管理

規格の要求事項と企業の経営者が定めた品質方針に合った形の文章にします。この文章を一般に品質マニュアルと呼びます。

この場合の経営者とは、品質システムの責任者のことを言います。

経営者は、品質方針を全従業員に理解させなければなりません。また、実施に当たっては、目標を達成するよう、部単位、課単位というふうに、下位にいくほど管理の目標値を絞り込み、具体的に展開していきます。



ISO9001は方針管理

計画に基づき実施されたものは、経営者への報告されます。

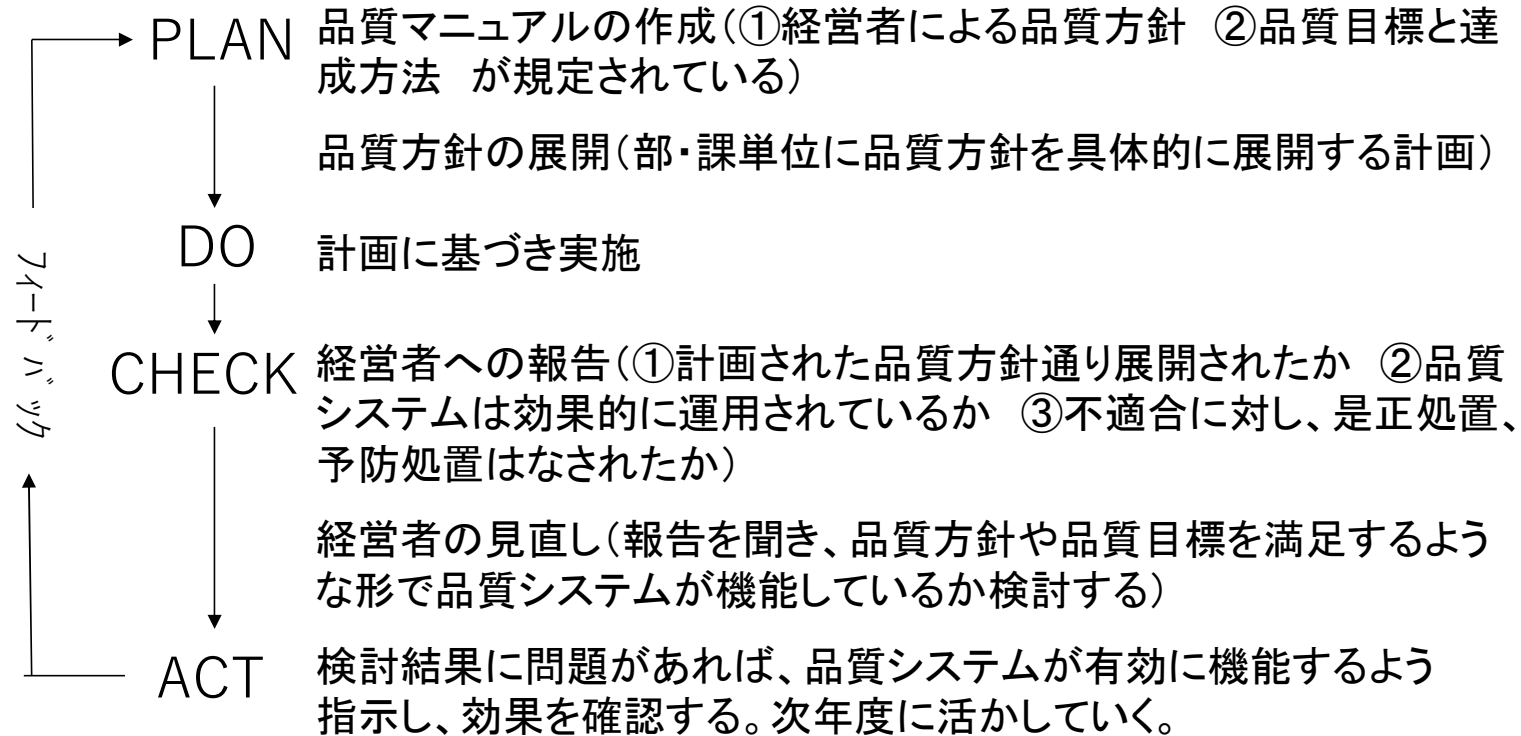
経営者は適切な間隔、時期に見直しを行い、効果を確認し次年度の品質方針および、より良い品質システム作りにつなげていきます。

このように見ていくとISO9001の考え方は、TQMでいう方針管理そのものと言うことができます。

ISO9001の場合は、PLAN→DO→CHECK→ACTのサイクルが効果的に回っているかを、第3者の審査機関が定期的に確認をします。



ISO9001は方針管理



内容

1、IATF16949 概要

2、IATF16949 規格解釈



対 訳

自動車産業品質マネジメントシステム規格—
自動車産業の生産部品及び関連するサービス
部品の組織に対する品質マネジメントシステム
要求事項

[ポケット版]



International
Automotive
Task Force

IATF 16949:2016

IATF16949 規格の構成

1章	適用範囲		
2章	引用規格		
3章	用語及び定義		
4章	組織の状況	ALL	顧客要求事項、製品安全
5章	リーダーシップ	ALL	プロセスの有効性及び効率
6章	計画	PLAN	リスク分析、緊急事態対応計画
7章	支援	DO	測定システム解析、内部監査員の力量
8章	運用	DO	顧客指定の特殊特性、設計・開発の計画、
		DO	設計・開発の検証妥当性確認、CP、製品承認P
9章	パフォーマンス評価	CHECK	統計的ツールの特定、内部監査
10章	改善	ACT	補償管理システム

IATF16949 規格の構成

1章	適用範囲		
2章	引用規格		
3章	用語及び定義		
4章	組織の状況	ALL	顧客要求事項、製品安全
5章	リーダーシップ	ALL	プロセスの有効性及び効率
6章	計画	PLAN	リスク分析、緊急事態対応計画
7章	支援	DO	測定システム解析、内部監査員の力量
8章	運用	DO	顧客指定の特殊特性、設計・開発の計画、
		DO	設計・開発の検証妥当性確認、CP、製品承認P
9章	パフォーマンス評価	CHECK	統計的ツールの特定、内部監査
10章	改善	ACT	補償管理システム

1.1 適用範囲ー ISO 9001:2015に対する自動車産業補足

この自動車産業QMS規格は、組込みソフトウェアをもつ製品を含む、自動車関係製品の、設計・開発、生産、該当する場合、組立、取付け及びサービスの品質マネジメントシステム要求事項を定める。

この自動車産業QMS規格は、顧客規定生産部品、サービス部品及び／又はアクセサリ部品の製造を行う組織のサイトに適用する。

この自動車産業QMS規格は、自動車産業サプライチェーン全体にわたって適用することが望ましい。

認証対象は工場であり、工場にない部署(設計・開発等)は支援部門として登録される。
認可証:登録事業所;○○株式会社○○工場、遠隔地支援部門;(例)本社、営業所
アフターマーケット部品は適用されない。
乗用車、小型商用車、大型トラック、バス、自動二輪車が該当する。

